

第31回

全日本自閉症支援者協会 研究大会(新潟大会)

『地域社会との共生を考える』

私たちは、1987年に「自閉症者の人権と生きるための発達保障、自立、社会参加の実践と研究の推進」を目的として結成され、福祉制度の谷間にある自閉症の人たちの支援を先駆的に実践してきました。障害者の差別禁止と合理的配慮の義務が求められるなか、平成28年7月に起きた非人道的な事件は、記憶にあらしく、忘れることはできません。

あの悲惨な事件から1年、今こそ本大会では「共生」をテーマに、支援者として自閉症の方々が豊かに暮らせる社会、障害のある人たちと共に生きる社会の実現のために、私たちは何ができるのか、今何をすべきなのか、をいま一度考えていきたいと思えます。

2017年

11月1日 水 11月2日 木

ANAクラウンプラザホテル新潟

新潟市中央区万代5-11-20

1日目

14:30～基調講演Ⅰ

「自閉症の方々の社会適応と家族支援プログラムについて」

講師：井上雅彦氏(鳥取大学大学院医学系研究科 臨床心理士 専門行動療法士)

16:10～基調講演Ⅱ

「自閉症のある人とのコミュニケーションを考える」

講師：坂井 聡氏(香川大学教育学部 特別支援教育 言語聴覚士)

2日目

9:30～シンポジウム

「地域社会との共存を考える」

13:00～分科会

テーマ別に5ヶ所(裏面参照)

参加費

両日参加 会員7,000円 非会員8,000円 1日参加 会員4,000円 非会員5,000円
情報交換会 8,500円

- 主催 一般社団法人全日本自閉症支援者協会
- 後援 新潟県 新潟市 一般社団法人日本自閉症協会 新潟自閉症協会連合会 認定NPO法人新潟・オーディズム
公益財団法人日本知的障害者福祉協会 新潟県知的障害者福祉協会
学校法人新潟総合学園新潟医療福祉大学 公益財団法人真柄福祉財団

大会事務局
お問い合わせ

社会福祉法人 新潟太陽福祉会 太陽の村担当：菊地・細井
TEL025-258-6337 FAX025-258-6338

Program プログラム

時間	1日目(11月1日)	時間	2日目(11月2日)
		9:00	受付
		9:30	シンポジウム 『地域社会との共生を考える』 【シンポジスト】 勝部 真一郎 氏 (萩の杜) 斉藤 喜美夫 氏 (てらん広場第二) 熊本 葉一 氏 (いわて発達障がいサポートセンターええ町づくり隊) 【助言者】 松山 茂樹 氏 新潟医療福祉大学 教授 【コーディネーター】 全日本自閉症支援者協会 会長 松上 利男
12:00	受付開始	11:30	閉会式
		12:00	昼食
13:00	開会式 主催者挨拶 来賓挨拶 他	13:00	分科会 ・第1分科会 「自閉症支援の魅力～なぜ、今、自閉症支援なのか」 担当施設【はぎの郷(石川)】 ・第2分科会 「施設と地域が連携した日中活動の支援と地域への貢献」 担当施設【すだちの家(福井)】 ・第3分科会 「地域生活における課題とその取組」 担当施設【親愛の里松川(長野)】 ・第4分科会 「自閉症児の児童期の支援について考える」 担当施設【太陽の村(新潟)】 ・第5分科会 「自閉症者支援の人材育成・定着を考える」 担当施設【めひの野園(富山)】
13:30	行政説明 厚生労働省 発達障害対策専門官 日詰 正文 氏		
14:30	基調講演 1 「自閉症の方々の社会適応と家族支援プログラムについて」 鳥取大学大学院医学系研究科 臨床心理士 専門行動療法士 井上 雅彦 氏		
16:00	休憩		
16:10	基調講演 2 「自閉症のある人とのコミュニケーションを考える」 香川大学教育学部 特別支援教育 言語聴覚士 坂井 聡 氏	16:00	終了
17:40	連絡伝達		
18:40	情報交換会		

お申込み・お問い合わせ先

株式会社 JTB 関東 法人営業新潟支店

【第31回全日本自閉症支援者協会研究大会】係

別紙申込用紙に必要事項をご記入のうえ、FAX または郵送にてお申し込みください。

〆切 平成 29 年 9 月 29 日(金)

FAX03-5396-8140 E-mail : niigata-mice@jbn.jtb.jp

※参加費等の入金後、参加券等を送付いたします。

10月未までに参加券の送付がない場合には事務局までお問い合わせください。

